

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人
県民厚生会

目 次

1. 令和6年度事業報告	P 1 ~ P 3
2. 法人単位資金収支計算書	P 4
3. 法人単位貸借対照表	P 5
4. 法人単位事業活動計算書	P 6
5. 令和6年度法人行事日誌	P 7
6. わが事業所の取組み	
【富士】	P 8 ~ P 12
【藤枝】	P 13 ~ P 17
【浜松】	P 18 ~ P 23

令和 6 年度事業報告

1. 法人全体

- ・令和 6 年度もコロナの影響は続き、当法人においては年末に藤枝特別養護老人ホームで感染拡大があり、大幅な利用者減少に見舞われました。
- ・人手不足の影響も大きく、浜松ケアプランセンターが 11 月より事業休止に追い込まれるとともに、ケアプランセンターからの送客減少により、浜松デイサービスセンターも大幅な減収となりました。
- ・また、人手不足を派遣利用で凌いだ結果として派遣費用が大幅に増加しました。
- ・この結果として、法人全体で、対前年比 23 百万円の減収となるとともに、一般企業の営業利益に相当する事業活動資金収支差額は、前年度 23 百万円の黒字から、8 百万円の赤字となりました。
- ・資金不足への対応として、静岡銀行からの 50 百万円の融資支援を得た結果、資金収支差額は前年比プラス 31 百万円のプラス 6 百万円となりました。
- ・令和 6 年 4 月からの新人事制度開始により、人件費の大幅な増加傾向に歯止めをかけることができたのは今後に向けての大きな収穫でした。
- ・令和 6 年度は特定技能 1 号外国人を藤枝で 1 名受け入れ、これまでに採用した技能実習生 7 名を含め、藤枝 6 名、浜松 2 名の外国人が勤務いたしております。令和 7 年度も特定技能 1 号外国人を 8 名受け入れる予定であり、割高な派遣社員との入れ替えを図ってまいります。
- ・地域交流イベントである「きらら祭り」を今年度も全施設で開催しました。その他の地域交流イベントも各施設で実施しております。

2. 施設別

【富士】

- ・事業活動収入 222 百万円でした。前年比でプラス 2 百万円、プラス 0.9%となりました。
- ・グループホーム、デイサービス、障害ヘルパーセンター、グループホームデイサービスが前年比プラスとなりました。

- ・施設全体の資金収支差額は30百万円となり、前年比プラス14百万円と大幅増益となりました。今期はグループホームの積立金取り崩し利益9百万円を計上しておりますが、これを除外しても前年比プラス5百万円と好調です。デイサービスとグループホームデイサービスが増益に貢献しております。

【藤枝】

- ・事業活動収入597百万円でした。前年比でプラス14百万円、プラス2.3%となりました。
- ・特別養護老人ホーム（以下特養）、デイサービス、ケアプランセンターが対前年比増収となりました。
- ・特養は11月までは全月増収と順調に推移したものの、12月にコロナのクラスターが発生した影響で12月・1月に退去・入院が相次ぎ、12月から2月にかけて減収となりました。空き日数が前年度の5.5日から25.1日に悪化するとともに、人手不足を派遣社員で穴埋めしたことにより、派遣費が前年度比プラス10百万円となり、新人事制度施行による正職員の人件費抑制を補うことができませんでした。この結果、資金収支差額は前年比8百万円マイナスの、27百万円の赤字となりました。
- ・令和6年5月より特養で特定技能1号外国人を1名採用いたしました。藤枝の外国人職員は、技能実習生5名と併せ6名となりました。全員熱心に業務に取り組んでおります。令和7年5月には特定技能1号外国人を更に8名、7月に技能実習生を1名採用する予定で、これにより派遣費用削減を図ります。
- ・ショートステイは前年比マイナス5百万円の減収となりましたが、収支黒字を維持しました。ショートステイにおきましても、令和7年5月より特定技能1号外国人1名を採用しました。令和7年度中にもう2名採用し人手不足に対応いたします。
- ・デイサービスは大幅に収入を増やし、前年比プラス12百万円、プラス13.9%となるとともに、資金収支も14百万円の黒字と好調を維持しております。
- ・施設全体の資金収支差額は前期比マイナス6百万円の16百万円の赤字となりました。令和7年度は特養の空き日数短縮とショートステイの増収を図り、施設資金収支黒字化を目指します。

【浜松】

- ・事業活動収入424百万円でした。前年比でマイナス38百万円、マイナス8.3%となりました。

- ・グループホーム（３．０％）、ヘルパーセンター（３．１％）、ショートステイ（５．６％）及び機能訓練デイサービス（０．２％）の４事業所が増収となりました。
- ・ケアプランセンターにおいて離職が相次ぎ、ケアプランセンターは１０月３１日を以て事業を休止いたしました。これに伴い１２百万円の赤字を計上するとともに、前年比２８百万円の減収となりました。本年１０月の１日からの事業再開を目指し、現在準備を進めております。
- ・ケアプランセンター事業休止により、ケアプランセンターからの送客が減少したため、デイサービスセンターが前年比マイナス２０百万円の大幅な減収となりました。資金収支も前年度８百万円の黒字でしたが、８百万円の赤字に転落しました。デイサービスセンター以外の事業所への影響は軽微でした。デイサービスセンターは４月より通常規模の定員３５名に縮小し、運営の効率化を図ってまいります。
- ・ショートステイは５百万円の増収となり、資金収支も２百万円改善させましたが、未だ６百万円の赤字を計上しており、更なる増収に取り組んでまいります。
- ・グループホームは３百万円の増収となり、赤字を２百万円減らしたものの、８百万円の赤字となりました。藤枝特養、富士グループホームも赤字となっており、各事業所、赤字削減に取り組んでいるものの、入居系事業が厳しい状況です。富士で増益成果を出しておりますグループホームデイサービス事業を浜松におきましても令和７年１０月より開始する予定です。
- ・施設全体の資金収支差額は２７百万円の赤字と、前年度の３百万円の赤字が拡大する結果となりました。
- ・令和５年１０月より受け入れた外国人技能実習生２名は熱心に業務に取り組んでおります。

３．施設・事業所からの報告

８ページ以降の「わが事業所の取組み」をご参照ください。

資金収支計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位: 千円)

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)－(B)
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	1,225,082	1,235,807	△ 10,725
		障害福祉サービス等事業収入	2,184	2,175	9
		受取利息配当金収入	73	73	0
		その他の収入	4,697	4,757	△ 60
		事業活動収入計(1)	1,232,036	1,242,814	△ 10,778
	支出	人件費支出	951,958	951,173	785
		事業費支出	126,720	125,866	854
		事務費支出	167,364	166,679	685
		利用者負担軽減額	1,972	1,716	256
		支払利息支出	1,383	1,381	2
その他の支出		3,708	3,643	65	
流動資産評価損等による資金減少額		4	3	1	
事業活動支出計(2)		1,253,109	1,250,465	2,644	
事業活動資金収支差額(3)＝(1)－(2)		△ 21,073	△ 7,651	△ 13,422	
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出	設備資金借入金元金償還支出	17,725	17,724	1
		固定資産取得支出	1,187	1,185	2
		ファイナンス・リース債務の返済支出	25,799	25,791	8
	施設整備等支出計(5)		44,711	44,700	11
施設整備等資金収支差額(6)＝(4)－(5)		△ 44,711	△ 44,700	△ 11	
その他の活動による収支	収入	長期運営資金借入金収入	50,000	50,000	0
		積立資産取崩収入	12,000	12,000	0
		その他の活動による収入	43		43
		その他の活動収入計(7)	62,043	62,000	43
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	3,332	3,332	0
		その他の活動による支出	508	506	2
		その他の活動支出計(8)	3,840	3,838	2
		その他の活動資金収支差額(9)＝(7)－(8)	58,203	58,161	42
予備費支出(10)		3,000		2,879	
		△ 121			
当期資金収支差額合計(11)＝(3)＋(6)＋(9)－(10)		△ 10,461	5,809	△ 16,270	
前期末支払資金残高(12)		304,860	304,860	0	
当期策支払資金残高(11)＋(12)		294,399	310,670	△ 16,271	

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	332,703	338,982	△ 6,279	流動負債	119,295	129,050	△ 9,755
現金預金	126,820	132,023	△ 5,203	事業未払金	22,033	34,121	△ 12,088
事業未収金	196,920	205,157	△ 8,237	1年以内返済予定設備資金借入金	17,724	17,724	0
未収金	526	521	5	1年以内返済予定長期運営資金借入金	9,996		9,996
未収補助金	7,041	94	6,947	1年以内返済予定リース債務	21,372	24,768	△ 3,396
貯蔵品	153	153	0	1年以内支払予定長期未払金	0	322	△ 322
前払金	464	472	△ 8	賞与引当金	48,170	52,113	△ 3,943
前払費用	776	559	217				
固定資産	1,067,176	1,136,275	△ 69,099	固定負債	384,847	360,818	24,029
基本財産	921,451	963,519	△ 42,068	設備資金借入金	207,240	207,240	0
土地	213,468	213,468	0	長期運営資金借入金	36,672	79,973	△ 43,301
建物	707,982	750,050	△ 42,068	リース債務	74,163	79,973	△ 5,810
その他の固定資産	145,725	172,756	△ 27,031	退職給付引当金	84,496	73,604	10,892
構築物	8,037	8,832	△ 795	負債の部合計	504,143	489,869	14,274
車輛運搬具	108	0	108	純資産の部			
器具及び備品	18,245	23,293	△ 5,048	基本金	1,473,799	1,473,799	0
有形リース資産	86,215	92,367	△ 6,152	第1号基本金	1,309,299	1,309,299	0
権利	557	597	△ 40	第3号基本金	164,500	164,500	0
ソフトウェア	271	456	△ 185	国庫補助金等特別積立金	168,210	176,574	△ 8,364
無形リース資産	9,496	12,550	△ 3,054	その他の積立金	0	12,000	△ 12,000
施設整備等積立資産	0	12,000	△ 12,000	施設整備等積立金	0	12,000	△ 12,000
出資金	10	10	0	次期繰越活動増減差額	△ 746,272	△ 676,984	△ 69,288
差入保証金	22,715	22,531	184	(うち当期活動増減差額)	△ 81,287	△ 45,693	△ 35,594
長期前払費用	68	117	△ 49	純資産の部合計	895,736	985,388	△ 89,652
資産の部合計	1,399,880	1,475,257	△ 75,377	負債及び純資産の部合計	1,399,880	1,475,257	△ 75,377

事業活動計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位: 千円)

勘定科目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,235,807	1,259,923	△ 24,116
		障害福祉サービス等事業収益	2,175	1,854	321
		サービス活動収益計 (1)	1,237,982	1,261,777	△ 23,795
	費用	人件費	960,933	942,404	18,529
		事業費	125,866	119,484	6,382
		事務費	166,723	176,647	△ 9,924
		利用者負担軽減額	1,716	1,498	218
		減価償却費	73,982	76,761	△ 2,779
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 8,363	△ 8,076	△ 287
		徴収不能額	3	11	△ 8
サービス活動費用計 (2)		1,320,862	1,308,731	12,131	
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)		△ 82,879	△ 46,953	△ 35,926	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	73	1	72
		その他のサービス活動外収益	4,757	3,678	1,079
		サービス活動外収益計 (4)	4,831	3,679	1,152
	費用	支払利息	1,386	1,094	292
		その他のサービス活動外費用	3,643	3,272	371
		サービス活動外費用計 (5)	5,030	4,367	663
	サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)		△ 198	△ 687	489
経常増減差額 (7) = (3) + (6)		△ 83,078	△ 47,640	△ 35,438	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益		3,909	△ 3,909
		その他の特別収益	2,811	13,949	△ 11,138
		特別収益計 (8)	2,811	17,858	△ 15,047
	費用	固定資産売却損・処分損	1,021	2	1,019
		国庫補助金等特別積立金積立額		3,909	△ 3,909
		その他の特別損失		12,000	△ 12,000
	特別費用計 (9)		1,021	15,911	△ 14,890
特別増減差額 (10) = (8) - (9)		1,790	1,947	△ 157	
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)		△ 81,287	△ 45,693	△ 35,594	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)		△ 676,984	△ 634,291	△ 42,693
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)		△ 758,272	△ 679,984	△ 78,288
	基本金取崩額 (14)				
	その他の積立金取崩額 (15)		12,000	3,000	9,000
	その他の積立金積立額 (16)				
	次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)		△ 746,272	△ 676,984	△ 69,288

令和 6 年度 法人主催行事日誌

月	主な行事	月	主な行事
4月	常勤理事会（5日） 人事PT（10日）	10月	常勤理事会（4日） 人事PT（9日） 藤枝特養内部監査（16日）
5月	人事PT（8日） 常勤理事会（10日） 監事監査（会計監査）（24日） 令和6年度第1回理事会（31日）	11月	常勤理事会（8日） 第三者委員会（8日） 人事PT（13日） 令和6年度第3回理事会（29日）
6月	常勤理事会（7日） 第三者委員会（7日） 人事PT（12日） 令和6年度定時評議員会（20日）	12月	常勤理事会（6日） 人事PT（11日） 全施設管理者会議（15日） 監事監査（浜松業務監査）（18日） 浜松GH内部監査（18日）
7月	常勤理事会（5日） 共同決定委員会（5日） 人事PT（10日） 全施設管理者会議（21日）	1月	常勤理事会（10日） 人事PT（15日） 令和6年度第4回理事会（31日）
8月	人事PT（7日） 常勤理事会（9日）	2月	常勤理事会（7日） 人事PT（12日）
9月	常勤理事会（6日） 令和6年度第2回理事会（6日） 人事PT（11日） 富士GH内部監査（18日）	3月	常勤理事会（7日） 人事PT（12日） 令和6年度第5回理事会（31日）

わが事業所の取り組み

～きらら富士 施設長・事務～

令和6年度の一番の目標は全事業所の目標達成でした。達成できなかった事業所もありましたが、施設全体で目標を達成することを、強く意識して取り組んできたおかげで、富士全体での目標達成をすることができました。1年の中では、どうしても利用状況が下がる月があります。それを見越しての前期の頑張りは、施設全体を活気づけ、事業所間の連携も深まりました。

また、1年間を通して「5S活動」に全職員が協力し、整理整頓や、業務改善によって生まれた時間を利用者様のために有効活用することにつなげることができました。今後も、この環境を維持しながら、さらなる改善に努めたいと思います。

地域に向けた活動では、きらら祭りをはじめ、敬老会、音楽会などにピーターの参加者だけでなく、初参加の方も多く、幅広い年齢層の方々にきららを知っていただくきっかけとなりました。令和5年度より、近隣の小学校との交流が復活しましたが6年度はさらに回数も増えたり、地域のサロンでは包括とともに「フレイル予防」の重要性を伝える活動も行ってきました。

以上のように、ご利用者へのサービスだけでなく地域においての活動も、きらら職員の重要な任務として理解し実践していくことが、結果として事業活動収入につながっているため、次年度も事業所連携を大切に、更なるサービス向上と地域活動を大切にしていきます。

施設長 望月 忍



グループホームきらら富士

今年度は入退居3件と入院4件あり空床が58日発生してしまいました。
GHデイはサービス提供時間の延長と日曜、年末年始の営業を開始しました。平日に比べまだ利用数は少ないですが、ご家族やケアマネさんからも好評です。需要があることを実感しています。年間延べ利用者数793人 1日平均2.17人と目標を何とか達成しました。

新規入居3名中、GHデイから移行された方が2名。
待機者の確保に繋がっています。また、きららの複数の事業所を併用されている方が多く、入居前から顔なじみの関係を築きやすいため、ご本人、ご家族、そして受け入れる職員にとっても安心に繋がりのやすいメリットがあります。

生産性向上の業務改善として、長年手つかずだった体験入居室の片づけ、記録の「ほのぼの一元化」に取り組みました。年度内に完了はしていませんが次年度に繋げることができました。また、GHデイの営業時間に合わせ夜勤時間の大幅な変更を行いました。夜勤時間の変更には様々な意見がありましたが時間をかけて話し合いを重ね、8月から変更。送迎のための残業時間減に繋がりました。

ボランティア様の協力

きららHH元職員のK様(週3日)とW様(週2日)がボランティアに来てくださいます。K様は話し相手や園芸、手芸、W様は昼食調理と片づけを担当してくださいます。必ずフロア内に職員1人はいますが、他の職員は入居者様の個別運動、散歩、事務作業等に充てられるので本当に感謝しています。

地域の小学生との交流

令和5年度から近隣の青葉台小学校との交流を再開しています。今年度は3年生と5年生の子どもたちがクラスごとに分かれ合計12回、見学、交流に来てくださり、たくさんの笑顔と元気をもらいました。今後も交流を続けていきます。



きらら富士

デイサービス

＊一年を通して前年度を上回る利用者数と売り上げでした！

＊目標達成のために「やるべきこと」を職員一丸となり実現させた年でした！



利用者数については、営業を今年度は拡大し新規獲得に成功し、登録利用者数を増加させました。

お試し利用者の獲得率98パーセント、行事やイベントには35人定員満席への声掛け、口腔機能訓練加算やADL維持加算など新たな加算への取り組みも実施しました。

それらの取り組みにより、後期の感染症による影響、また、入院やご逝去されたことによる利用者数の減少が例年よりも多くなってしまいましたが、年間を通しての目標達成に繋げることができました。

職員に関しては、業務改善を検討し、時間外的大幅削減ができました。

お互いに声を掛け合い、皆が協力する良いチームになりました。

その結果として、富士施設内の「にっこりほっこり」の取り組みでは、「抜群のチームワーク賞」を満場一致で受賞させていただきました。

また、法人全体の業務改善“5S活動”では、「チームワーク賞」と「優秀賞」の二つの賞を受賞することができました。

後日利用者様にこの報告をすると、利用者様からは、「こんなすごいデイに来られてうれしいよ。職員も素敵♡」

とおっしゃっていただけことは忘れません。

頑張った職員皆に感謝しています。

職員皆が成長できた一年でした。



＊次年度も自信をもって今年度以上の結果を出したいと思います！！

＊利用者様第一に、一層の接遇と自立支援介護を実践します！！



きらら富士ヘルパーセンター



令和6年度を振り返って

令和6年度は介護報酬の改定から訪問介護の基本報酬が引き下げられ、苦しい状況の中、さらに、人材不足・職員の勤務時間の制限・物価高騰等深刻な問題を目の当たりにした1年でした。

また、きらら輝く事業所を目指しご利用者・ご家族・職員が寄り添い、在宅生活を支える訪問介護の在り方をみんなで考え、質の向上に努めた1年でもありました。



念願の契約ヘルパーさん1名入職が決まりました!!!



職員募集

人材不足に対応
1人でも多くの仲間を募集

- ①今年度はすべてのヘルパー社用車に職員募集のチラシを貼り市内中を駆け巡りました。
- ②ハローワークでの福祉に興味がある方を最優先にきららにご紹介いただくリクエスト登録に2か月に1度足を運びました。
- ③ハローワークでの職業ブースで説明会に参加させていただきました。

5s活動の取り組み

今年度取り組んだ5s活動では、今までできていなかったところに手を出ことができ、ファイルも棚の中にバラバラに入れてあるため探すのに時間がかかってしまっていたが、50音順で色を変えテープを貼ることでみんなが整理しやすく、探す無駄がなくなり効率化された。ほんの些細な工夫だが、確実に仕事の効率は上がることにつながりまた、局長賞をいただくことができたことに自信がもて今後も楽しく業務改善をしていきたいと思います。

～生産性委員より～

☆障がい支援☆

障がい支援では10名の方の支援に伺わせていただいております。

「自分でご飯が炊けた！」
「ヘルパーさんと一緒に楽しく片付けができています！」等うれしい報告をいただけています。ヘルパーが関わることで、今まで出来ていなかったことができるようになったり、少し自信がもてたり、サポートさせていただくことで安心に繋がっていることを実感しております。これからも、自立支援を促しご利用者の声を聴きながら満足していただけるよう精一杯頑張っていきたいと思います。

きらら富士ケアプランセンター

富士ケアプランセンターは4人で力を合わせてケアマネジメントに取り組んでいます。

令和6年度は主任ケアマネが3人となりました。

今年度は研修の多い一年でした。同時に地域との連携会や交流もできたと思います。

ケアマネの実習生を1名受け入れた時は、自分達の初心を思い返し、人材育成の必要性や、日々経験を積んでいることを実感しました。

利用者アンケート結果では、制度やサービスについて、分かりやすい伝え方や丁寧な説明等のスキルアップに改善点があると気付くことができました。

又、感謝の言葉や暖かい言葉の回答には、とても励まされました。

令和7年は以前から言われていた2025年問題の年でもあります。生産性向上に加えて、単に課題解決するのではなく、改善の可能性に視点をおき、意欲向上と自立支援に向けた支援に取り組みたいと思います。

引き続き4人で助け合いながら、他事業所とも協力し、地域の方に「きららのケアマネさんは良い」「きららなら安心だよ」と言ってもらえるような、和やかな「きらら富士ケアプランセンター」を目指していきたいと思います。



～きらら藤枝 施設全体 我が事業所の取り組み～

令和6年度も「収支アップと目標達成」を計画に掲げ、全事業所が事業運営に取り組みましたが、残念ながら藤枝全体として目標未達となりました。年末に起きた特養のクラスターにより、大きな空き日数が生じたこと、関連する感染消耗品の費用発生なども生じ、影響があまりに大きかった。ショートステイも前半での利用率減少が響き、後半で数字を伸ばしたもののカバー出来ませんでした。デイサービスは歩行訓練に力を入れ、増収に繋げることが出来ました。ケアプランセンターは、地域包括との連携に力を入れると共に、内部事業所へのアシストを積極的に行いました。また、他の取り組みとしては、プロジェクトを通じ「生産性向上と業務改善」を考え、職員が意識改革に取り組んだ1年であったとも思います。「基準書」活用によりケアの質を上げること、業務効率化を考え人員不足でも対応できる組織づくりを考えるなど、職員一人一人が変わるきっかけとなりました。地域活動に対しても、「運営推進会議」の開催を行い、町内会長様、民生委員様、学校関係者様など、広幡地区の方々とのコミュニケーションを取り、特に、近隣中学校や高校と交流を深め、職場体験実習を多く行うことで、利用者様との触れ合いから、福祉施設の理解に繋げることが出来ました。外国人採用におけるアパート受け入れ準備など事務職員も大きく協力してくれました。しかしながら、藤枝全体で未だ赤字である結果については重く受け止めています。今年度の反省をバネに、組織全体の取り組み目標である「自立支援」に対し、職員一丸となって推進し、収支改善に繋げていきたいです。

施設長 阿部 智弘

令和6年度 施設行事など

5 S活動



きららサロン・子ども福祉体験



敬老会・民生委員様来所



菜の花様とのBCP協定



令和6年度 きらら藤枝 特養の取り組み

居酒屋



おやつレク



ぬいえ



野菜植え



令和6年度は、生産性向上にて5S活動や口腔衛生の為のOHATに取り組んだり24Hシートを本格的に活用するまでにしましたが、12月に突然コロナが発生し、メガクラスターとなり対応に追われた1年でした。コロナ対応は大変でしたが、行事は利用者様、職員共に楽しく行う事が出来ました。居酒屋レクなどの年間行事以外にも各ユニットでのレクリエーション等で楽しむ事が出来たと思います。

令和7年度は自立支援がテーマです！自立支援に関しても、利用者様と職員が楽しみながら取り組み、利用者様の元気・笑顔が増える1年にしたいと思っています。

きらら祭り



誕生日



敬老会



やきそば





ショートステイも、人材不足やケアの複雑化、食品等の高騰などの社会的情勢の中にあります。その中、令和6年度4月より重点的に取り組んだのが、『生産性の向上』になります。職員負担軽減や時間短縮を図ることで、ケアの質の維持向上、職員の職場環境よくすることを目的に「業務改善」「5S活動」「2度手間や無駄をなくす」ことをテーマに、日本経営のノウハウをお借りしながら、毎日の中で、時間や手間、負担がかかっていることを洗い出し、積極的なICT機器の活用や導入、記録の簡略や一元化、カウンター等の整理、様々な見える化、薬のセットの仕組み変更、入浴や休憩方法、少人数での回し方等、本当に数多くの事を委員会・事業所会議そして日々の中からも話し合い・周知・見直し・改善を図ってきた結果、以前に比べ半数の職員でも同等の業務やケアを1年通して提供し続けることができました。それは、ひとえに職員一人ひとりが献身的に取り組み、成長したことに尽きると考えています。また、派遣職員の未定着による支出が、大きく膨れ、人件費率をしっかりと下げるところまでには至りませんでした。労働生産性も向上していると考えています。令和6年度の成果を活かし、収益増と他に負けないケアの実現をすることで、職員とご利用者双方に良い処遇や待遇が生まれることを信じ、進めていきたいと思っています。



きらら藤枝デイサービスセンター

わが事業所の取組



【令和6年度：楽しく運動！いつまでも自分らしく！】



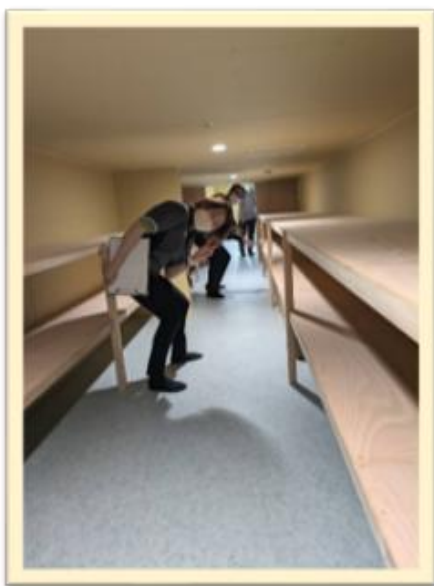
「自宅では横になっている事が多い...」「一人で歩かれると転倒が心配...」など、体力に関する不安のお声もご家族様から聞かれておりました。室内での機能訓練はもちろんです、お花見や初詣、近くの公園をお散歩など、楽しい活動を通じて、心身ともに皆様の健康に繋がる取り組みの必要性を感じました。そして、今年度のきららデイは、**楽しく体を動かす**をテーマにさまざまな取り組みを実施いたしました。その中でも、**毎日コツコツ！**と、**楽しく無理なく運動**ができるようにと考え、ご利用時には皆様の上靴に万歩計を装着し、一日過ごしていただきました。個別設定した目標歩数を達成し、ポイントが貯まると、お買い物やランチなどのご自分で決めた**やりたい！**を職員と一緒に実行！お祝いとして特別な時間を過ごしていただき、ご本人様のみではなく、ご家族様からも「嬉しそうに話をしてくれた！」「楽しそうに過ごす写真を見て、嬉しく思う！」など、好評です！

きららデイが皆様にとっての生活の一部であり、居心地の良



きらら藤枝ケアプランセンター 令和6年度 事業所報告

R6年度の取り組みはBCP訓練を居宅として行い、利用者宅まで歩いていながら災害時の対応を検討することができました。その他、施設見学、きらら祭り、桜を見る会、忘年会の司会等様々なことに取り組み、チームワークで乗り切りました。来年もチームの良さを発揮しながら頑張っていきたいと思います。



明るく風通しの良い
事業所です！



お気軽にご相談
ください！





きらら浜松 施設長・事務

令和6年度 わが事業所の取り組み

きらら浜松を開設し、地域と共に在る施設を目指し、ここまでやってきましたが、22年目となる令和6年度、地域との相談窓口となるケアプランセンターを休止する事態となり、申し訳ない気持ちでいっぱいです。事業目標・収支に関して本館は、ヘルパーセンターが辛うじて目標を達成し、黒字となりましたが、本館デイは、利用者目標平均34人を大きく下回り、事業所の売りを明確にし、方向修正が必要とされてます。グループホームにおいても、入院0日、空き日数3日と現状での収益は100%に近いにもかかわらず、赤字となり、増収することが課題となっています。西館に関しては、ショートステイが赤字となりましたが、新規利用獲得や新たな取り組みに力を入れ、大きく増収し目標収入は達成でき、年々赤字を縮小することが出来ています。機能訓練デイサービスは、黒字維持とはなりましたが、前半は好調でしたが、11月から利用者数が減少し、目標利用人数平均32人を下回る結果となり、大きく収益を伸ばすことが出来ませんでした。

浜松全体での黒字を目指しましたが、達成することが出来ませんでした。業務改善に向けての取組は、日本経営の指導の下、各事業所において、気づきや提案・工夫をしながら取り組むことが出来たと思いますが、介護の質の向上に繋がったり、職員一人一人が意識をもって参加できるところまではいけなかったと感じます。今後選ばれる施設になるためには、各事業所が課題に向き合い、チームが一丸となって成果を出していくことが求められます。職員一人一人が他人事と思わず、利用者様の想いに寄り添い、必要とされる施設について考えられるようになりたいと思います。そして、きららに來たい、きららでよかったと言っていただけの施設を目指したいと思います。

そして、地域の方から頼りにされ、信頼される施設であり続けられるよう努め

施設長 鈴木 薫



業務の効率化で経費削減に
貢献します。

事務

グループホーム きらら浜松

- ・新型コロナウイルス感染症が収束し、『掛川花鳥園』への外出行事や、3年ぶりの『家族会』等、開催することができました。
- ・季節の行事では、2名の技能実習生も参加し演劇を盛り上げて下さいました。
- ・転倒等によるお怪我より、入院し空き室となってしまうように、職員による歩行訓練や、入居者様自身での食器拭き、洗濯物干し等の「生活の中でのリハビリ」にも力を入れています。令和6年度は空き室3日、という結果を残す事ができました。



掛川花鳥園



節分行事



家族会



生活リハビリ



**きらら浜松
デイサービスセンター**

機能訓練、お散歩

季節の作品制作

喫茶店へ

NEW
移動スーパーを始めました！

浜松祭り会館へ外出

紅葉狩り

地域の子供たちとの交流

令和6年度は、利用者様数の回復に向け、サービス面の向上だけでなく、営業活動を強化した年でした。そして、営業の成果は、中々出なかったものの、年度末にかけて、多数の新規利用者様を獲得でき、ようやく結果として表れてきました。

しかし、今回、年間目標の達成には至らなかったため、令和7年度は、必ず目標達成できるように、職員一同、頑張っていきたいと思えます。

きらら浜松ヘルパーセンター

令和6年度 年間訪問回数 **12,798回**

令和5年度 年間訪問回数 12,703回

訪問回数**95回増**↗

職員数が減少の中、訪問回数を増やす事ができました。日々変化する利用者様に迅速で適切な対応ができるよう、今年度はサービス提供責任者のスキルアップを目指して勉強会を行いました。



サービス提供責任者の役割や契約の仕方、計画書の作成の仕方などの研修を行いました。



(外部研修)



研修内容を他の職員と共有する事で組織全体で学びを深め業務に活かせるようにしました。

登録ヘルパーにも安心して仕事をしてもらえるように個別研修の充実、報告された内容やケア内容変更などの迅速な対応を心掛けました。



ご利用者様、ご家族様、ケアマネージャーに

安心・信頼・選ばれる

ヘルパーセンターをこれからも目指して
いきます。

きらら浜松 ショートステイ

常に利用者様に楽しんでいただき、活気のある施設を目指して日々様々なものを提供して

外出レク



(浜松祭り会館)



(お花見)

手作業レク



ボランティアさんも
沢山来て頂き、常に新
しいものを楽しんで頂

ボランティアレク

笑顔



移動スーパー



お楽しみ会。職員頑張り
ました！

笑いのあるグループ体操！！脳トレや歌も交えた体操！！

機能訓練デイ



バンザイ！

ボールを足に挟んで運動します



私、頑張ってます

よいしょ
よいしょ



発行年：2025年5月

発行人：
きらら浜松西館
機能訓練デイ職員

あきないデイ！！笑顔のデイ！！

うまくできたでしょう

洗濯物は
おまかせ！



「理念」

「きらら」とは、「心の通う憩いの場」

わたしたちは、輝かしく過ごされたご利用者様の半生に、深い尊敬と共感の心をお伝えしたいと願い、そのために、どんな時もきらきら輝く笑顔があふれている施設を目指す、それが私たち県民厚生会「きらら」全職員が共有する使命です。

法人概要（組織沿革）

- ・平成 17 年 12 月 28 日 法人設立認可（平成 18 年 1 月 6 日登記）
- ・平成 18 年 10 月 24 日 「特別養護老人ホームきらら藤枝」開始
「きらら藤枝ショートステイ」開始
- ・平成 18 年 12 月 1 日 「きらら藤枝ケアプランセンター」開始
- ・平成 19 年 6 月 1 日 「きらら藤枝デイサービスセンター」開始
- ・平成 12 年 7 月 1 日 「グループホームきらら富士」開始
- ・平成 13 年 1 月 1 日 「きらら富士ケアプランセンター」開始
- ・平成 13 年 1 月 1 日 「きらら富士デイサービスセンター」開始
「きらら富士ヘルパーセンター」開始
- ・平成 15 年 1 月 1 日 「きらら浜松ケアプランセンター」開始
「きらら浜松ヘルパーセンター」開始
- ・平成 15 年 3 月 1 日 「グループホームきらら浜松」開始
「きらら浜松デイサービスセンター」開始
- ・平成 20 年 1 月 1 日 きらら富士・きらら浜松 県民共済より事業移管
- ・平成 29 年 1 月 1 日 「きらら浜松ショートステイ」開始
「きらら浜松機能訓練型デイサービス」開始
- ・令和 3 年 7 月 1 日 「きらら富士障害福祉サービスヘルパーセンター」開始
- ・令和 4 年 12 月 1 日 「きらら富士グループホームデイサービス」開始
- ・令和 6 年 10 月 31 日 「きらら浜松ケアプランセンター」事業休止